

市役所庁舎予定地の跡地利用を含む、
これからのまちづくりについて

近江今津駅周辺地域活性化検討委員会を設置、 そこで利活用を検討すべきでは？



早川 浩徳 議員

答

市民が参加し、市全体の振興につながる議論の場を検討したいと思います。



今津南沼市有地

6月議会での庁舎問題の

決着を受け、跡地利用を含めた北部地域活性化施策の今後の推進を期待している。将来のまちの発展につながる跡地利用をすべきだが見解を問う。

問 北部地域の活性化に

ついでの見解は。

答 政策部長

マキノ地域への企業誘致や敦賀市との広域連携も検討しており、将来的に北部地域が日本海側からの玄関口となり得る可能性も含め、市全体として持続可能な発展をめざして取り組んでいきます。

問

次のような利用も考えられるが見解は。

- ・ 県の高島合同庁舎や高島警察署など行政施設を統合、観光・商業やビワイチのレンタサイクル等の機能を持つ観光発信拠点にする。
- ・ スポーツ施設として、今津総合運動公園と連携しスポーツを核にしたまちづくり拠点とする。

答 政策部長

現状での計画は白紙ですが、交通環境や自然景観に恵まれた立地であり、有効活用は重要な課題です。公共施設再編計画との整合性も併せ検討を進めます。

問

今津港と新旭風車村前の港湾整備との両立は、防災機能の二重化の観点からどうか。

答 政策部長

県管理の防災拠点港として新旭風車村前への整備を要望しているが、民間港である今津港との両立と役割分担は必要と考えます。

問

市の将来ビジョンをイラスト等で示し、若い世代や子どもたちに夢や希望を持ってもらうことが大切では。

答 政策部長

今後十分に検討します。

問

跡地利用は単独ではなく「近江今津駅周辺地域活性化検討委員会」を設置し、周辺地との連携を含め検討すべきと考えるが市長の考えは。

答 市長

設置は賛成です。日本海側から見ると北部地域は大きな発展の可能性を持つが、これを市全体の発展につなげることが重要です。周辺地域の利活用を高島全体の振興につなげるため、市民の皆様にご参加いただく議論の場は大変貴重であり検討したいと思います。



その他の質問

● 教員の働き方改革について